

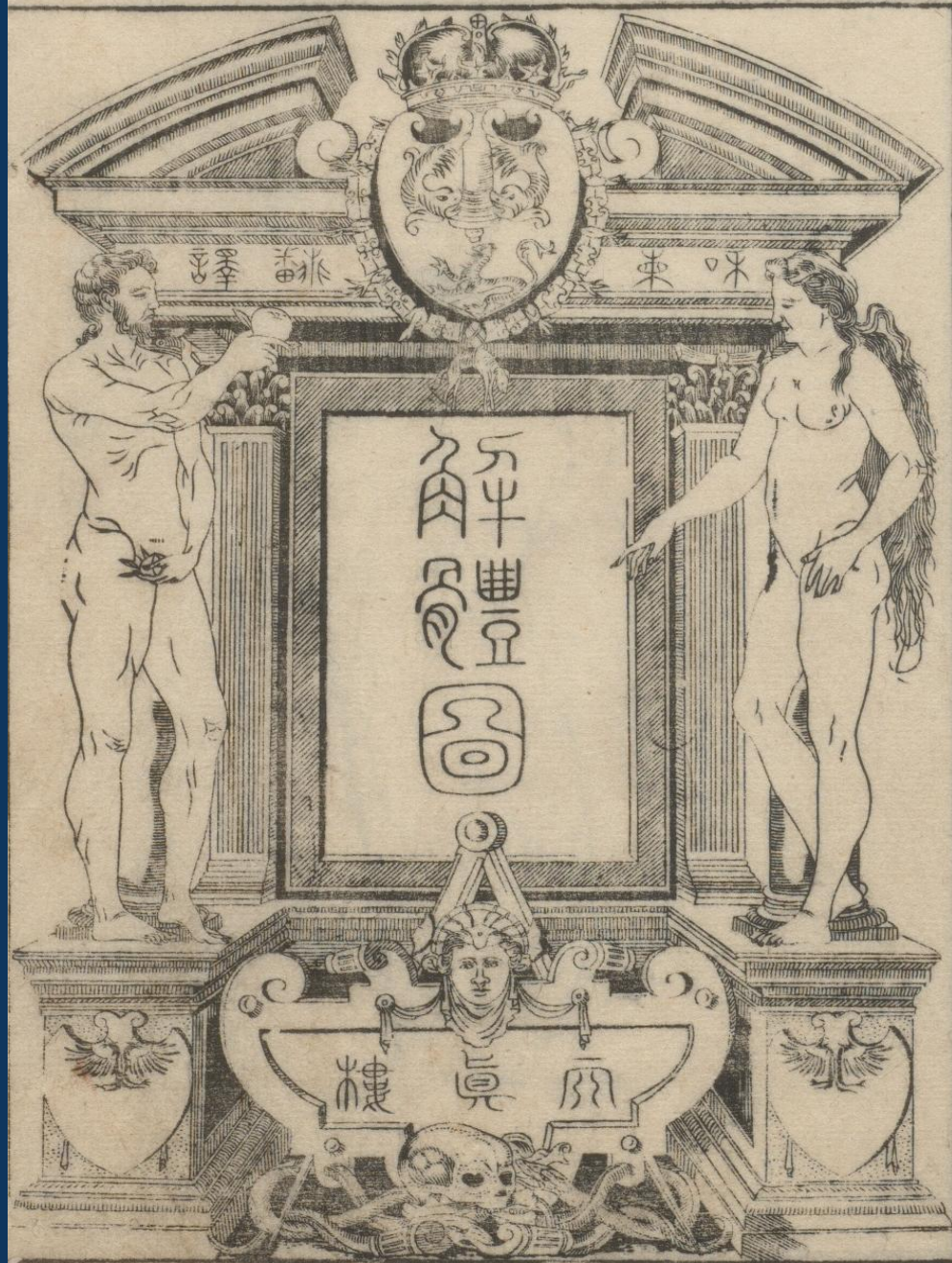
横浜市立大学 医学部 オープンキャンパス2026

医学情報センター
貴重資料オンライン展示

医学への探究心

江戸から現代へ受け継がれる「学ぶ力」

令和8年8月6日～8月24日



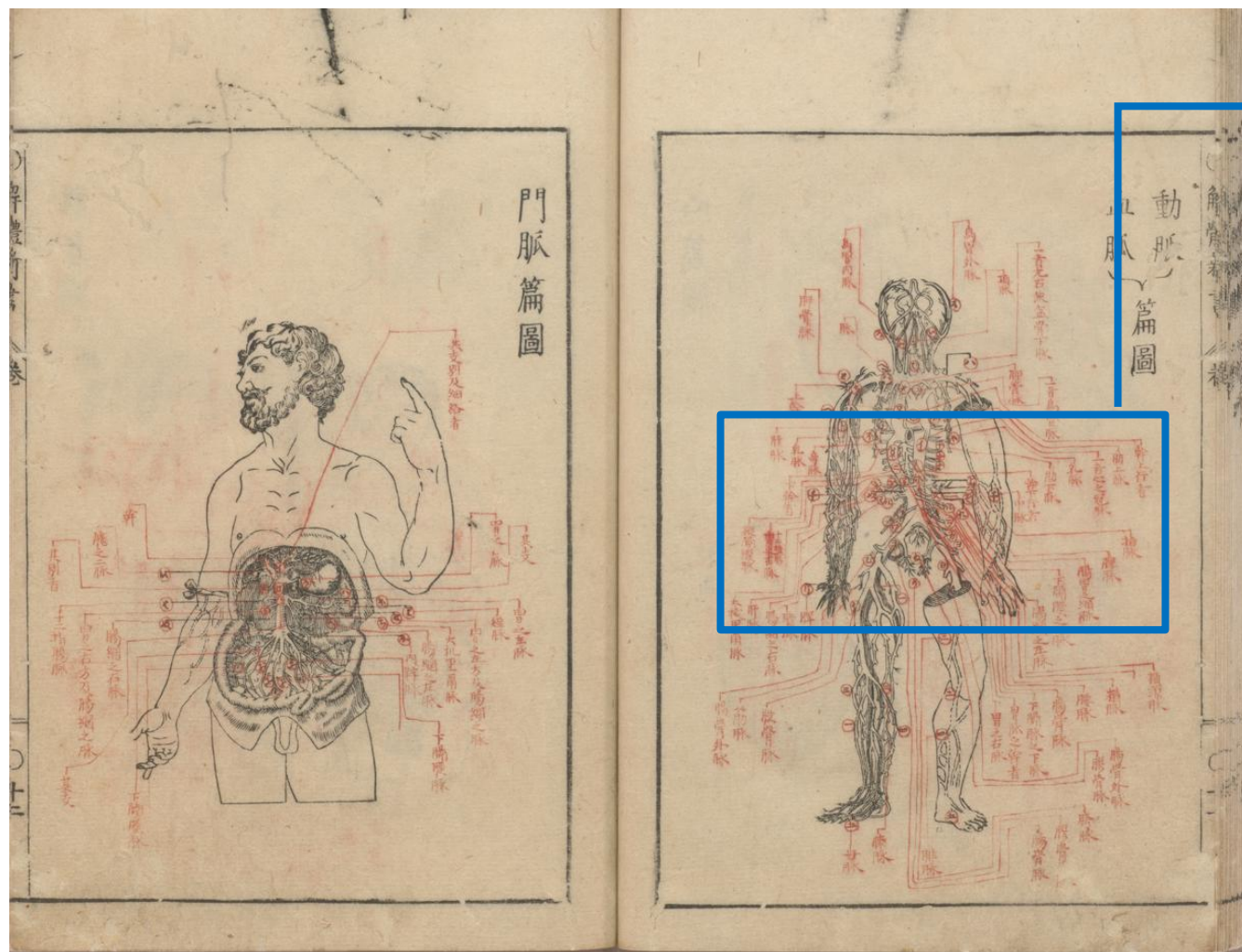
解體新書

4巻首1巻5冊

(独) 闕児武思 [Kulmus]原著；杉田玄白 訳
中川淳庵 校 小野田直武 画
東武 須原屋市兵衛 安永3 (1774) 年刊

ドイツ人医師のJohann Adam Kulmusの医学書
『Anatomische Tabellen』のオランダ語訳である
『Ontleedkundige Tafelen』(ターヘル・アナトミア)を
前野良沢、杉田玄白等が翻訳した図書です。
教科書などに掲載され、よく知られている図
(中央の画像)は、序図の扉絵です。





医学情報センターには、2組の「解体新書」が所蔵されています。そのうちの1組（鈴木文庫）の特筆すべき点は、膨大な量の**書き込み**です。

黒や赤の細かい文字は印刷等ではなく、医学を学ぶ元の所有者※によって細かい筆で手書きされたものです。

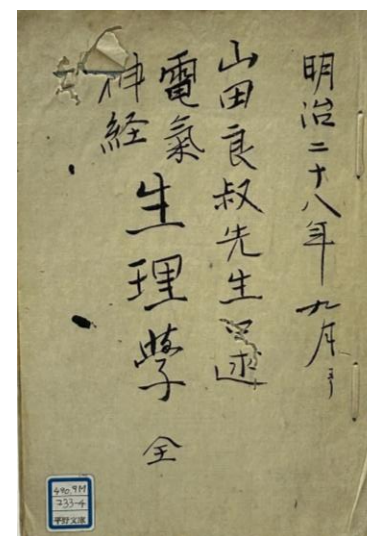
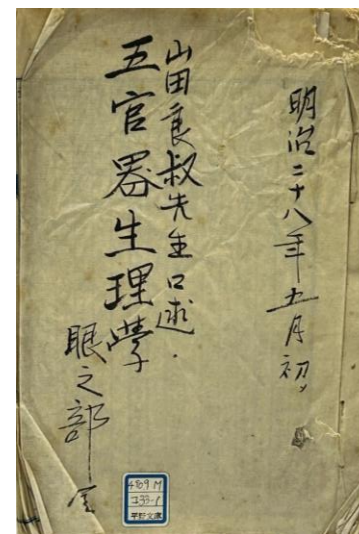
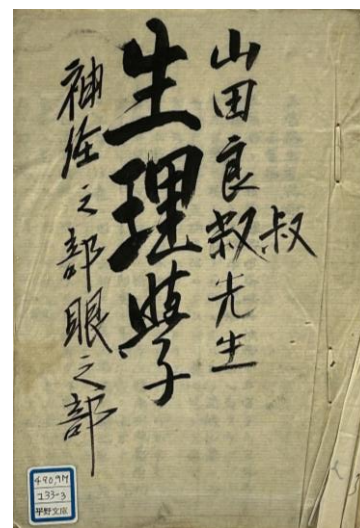
※1巻と序図に記名のある「小田志村 中村」氏と考えられます。

明治時代の医学生の講義ノート

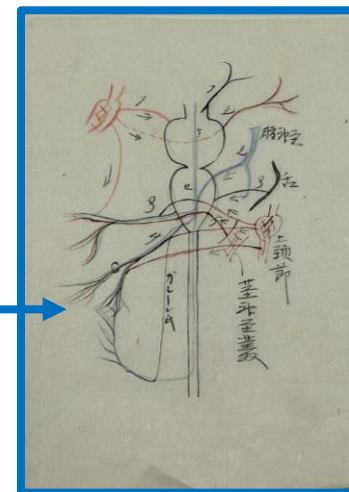
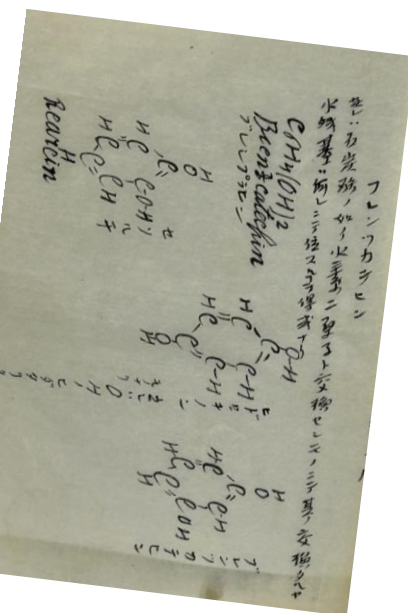
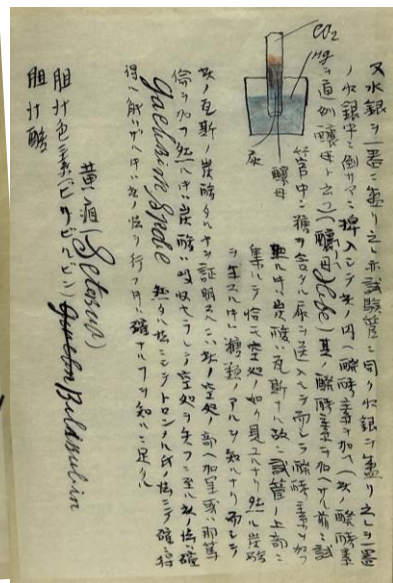
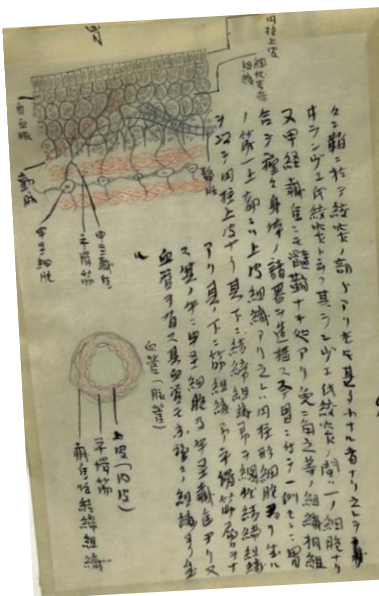
120年前の学生も必死に学んでいた



生理學：猪子吉人 述、松島文哲 筆記



生理學 [講義] : 山田良叔 述、平野周太郎 筆記

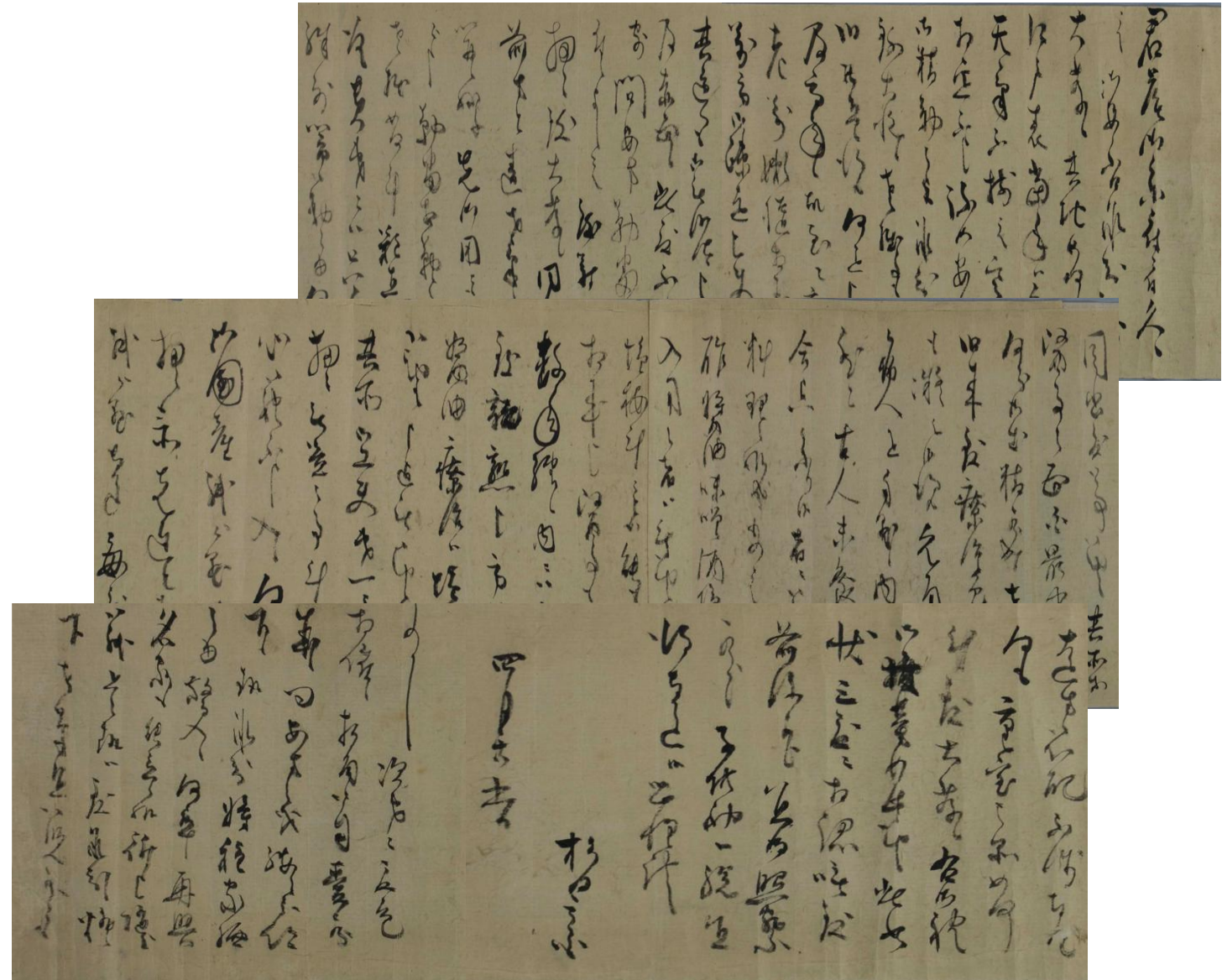


杉田玄白白筆書状

15×138 cm（巻紙）文化 13（1816）

「玄白いましめの文」といわれるもの。杉田玄白が親しい弟子に宛てて、贈り物にお礼を述べ、あわせて治療の秘訣を料理に例えて、丁寧に諭した長文の書状です。

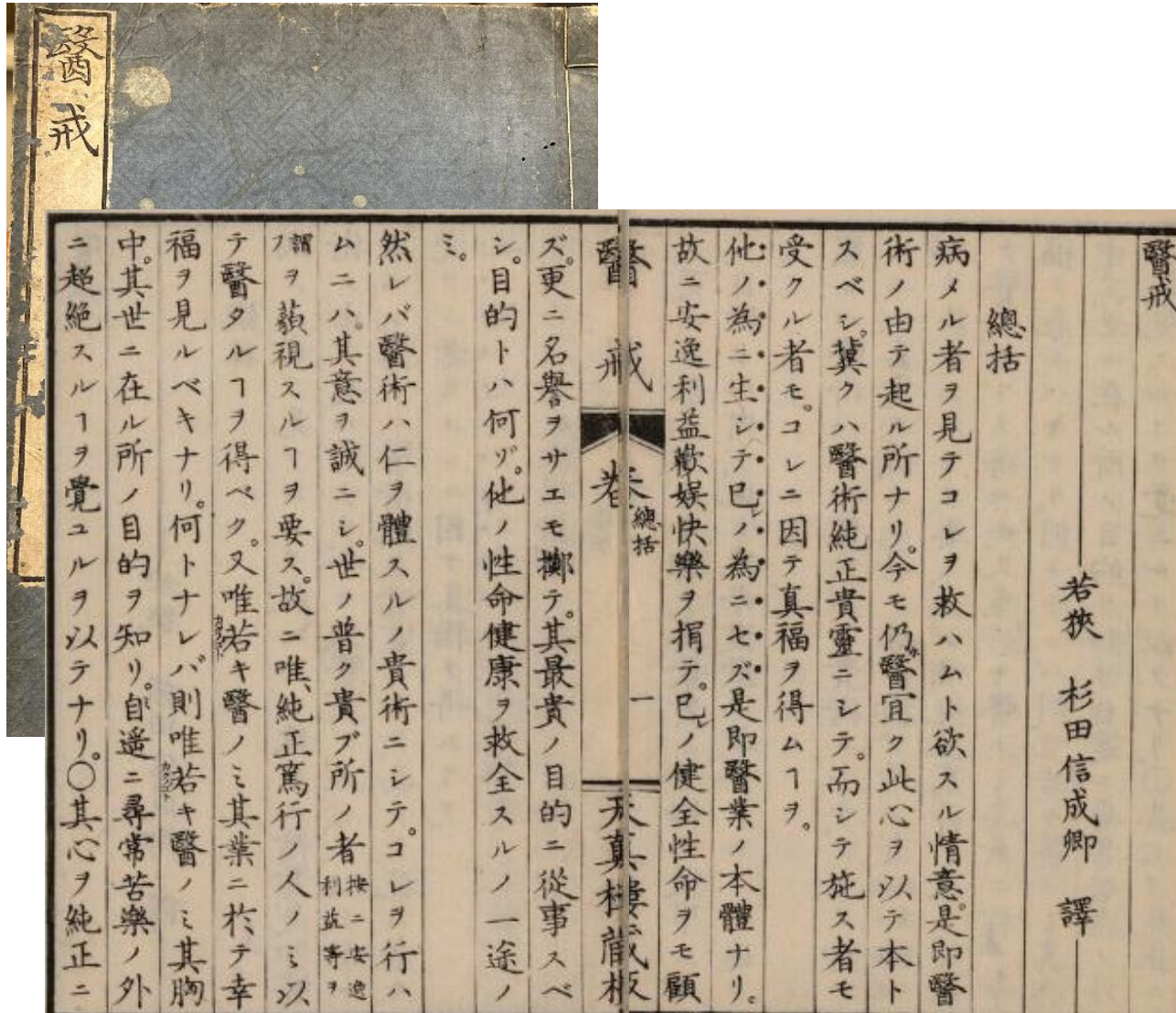
玄白の死の1年前、84歳の時に書かれたもので、末尾に「老年で根気がなくなっただため、三度に分けて書いた。文が前後しているであろうから、よろしく判読してくれるように」とあるとおり、3回に分けて書き継がれています。



医戒（済生三方附録）

（独）扶歇蘭度[フーヘランド] 原著 杉田成卿 訳
嘉永2（1849）刊（天真蔵版）26×18cm

ドイツの内科学者 Chrstoph Wilhelm Hufeland（1762—1836）の著作「医学便覧 Enchir-idion Medicum」を杉田玄白の孫である蘭学者杉田成卿が翻訳したもの。「医師の義務」の章が「医戒」として翻訳され、医師のあるべき姿を示しています。

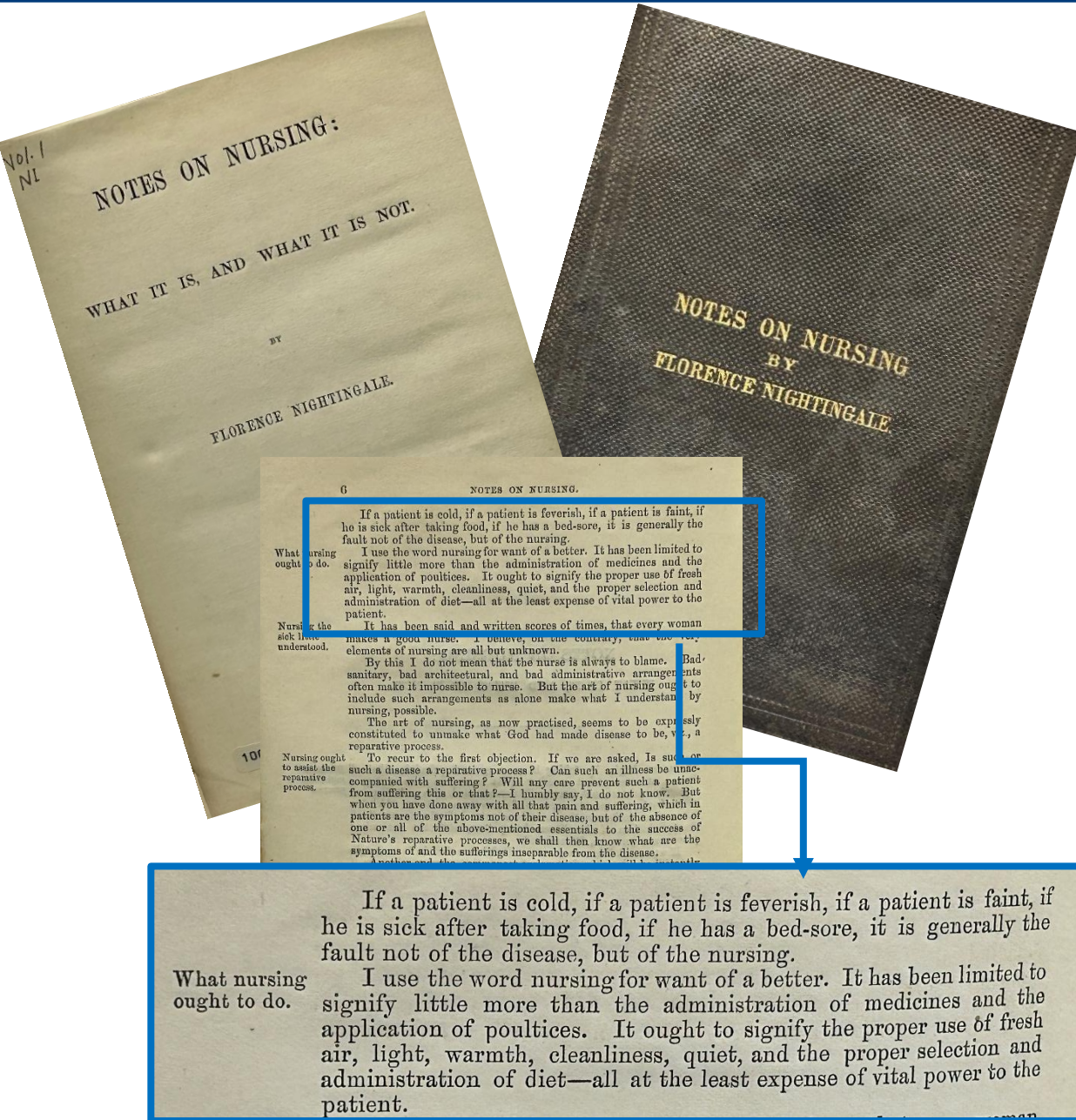


Notes on Nursing what it is, and what it is not (看護覚え書)

by Florence Nightingale
Harrison, Bookseller to the Queen, 1860

1859年にフローレンス・ナイチンゲールが、
看護師や家庭内で家族を看護する人のために
看護について著した書です。

今も世界中の看護師を志す人々に読み継が
れている古典的名著です。



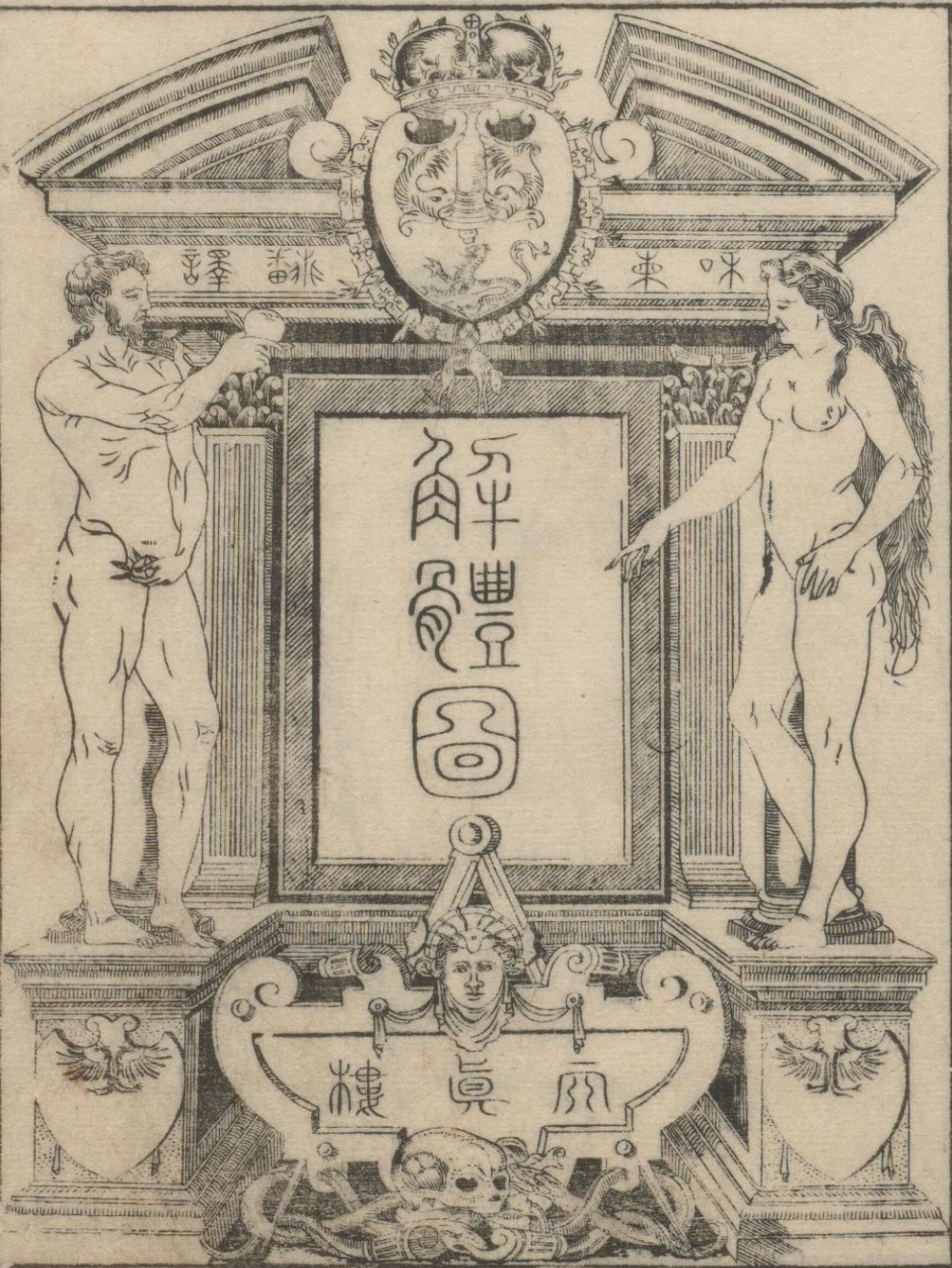
医学への探究心

未知を知ろうとする力

学び続ける力

人のために役立てようとする心

次にその歴史をつなぐのは、
皆さんかもしれません。





**高校生対象
夏季特別利用実施中**

**<期間>
令和8年8月3日(月)~31日(月)
の休館日を除く平日
【午前9時~午後5時】**